

みうらトーク&トーク 平成 28 年度第 1 回

日 時

平成 28 年 7 月 27 日 (水)

19 時 00 分～20 時 20 分

参加者

初声区長会

テーマ

今後の初声町を考えて

初声区長会長あいさつ

三浦市長あいさつ

<意見交換・概要>



市民 昨年までは質問書を出して各部課長から返事をいただきましたね。そちらがまだ回答を頂いていないのですが、この場で回答いただけるものでしょうか。

市長 改めて担当課から回答いたしますが、答えられる部分はお答えします。

市民 市道沿いの街路樹の整備について方針はありますか。

市長 街路樹を統一しようとか、そういった方針は現在ありません。

市民 京急ニュータウンに植えられている「アメリカンデイゴ」を、これまで市の方で毎年 1 回枝払いをしていただいております。しかし昨年度は枝払いをしていただけなかったのですが、今後はどうなるのでしょうか。

市長 今日頂いたご意見を担当課に伝え、後日お答えするようにいたします。

市民 旧三崎高校の跡地の開発について、国道 134 号線を右折で進入できる信号を作るとお聞きしました。あそこの信号は大渋滞していて、引橋区から来ると、なかなか出れません。その対策も考えてください。

市長 勿論です。

市民 それに加え、今度消防署ができる道路にストップできない区画が出来るのではないですか。そういったことも対策は練ってあるのでしょうか。

市長 今はまだ練っていないです。今は右折進入路をいかにするかということで、三浦海岸方面の三崎高校の正門がありますよね。そこが進入路になるのか、もうちょっと三浦海岸寄りにずらさなければいけないのかという考えもあります。三浦海岸方面から来たときに入る道がないんです。そうすると、暫定的に当面はオープンの関係があって、そこから右折で入るしかないかなと。引橋の交差点は今よりも大きな交差点になるようなことで計画しようということなのですが、まず引橋区の皆さんに現地説明をさせていただいて、引橋区としてどういった意向があるのかを伺い、対応していくことになるうかと思えます。

市民 先ほどのお話の中で、お年寄り向けの施設を作るという話ありましたよね。どちらかと言えばもっと若い人に目を向けてもらいたい。若い人の人口流出を防ぐのが一番大事だと思います。三浦の良い所は何かと思うと、三崎口の始発から電車に乗って通勤通学できます。特に通学については東京まで、下車しないで通える。

しかし朝の三崎口のロータリーは車が多く、慣れてない人だとどこに車を止めて乗降したらいいのか分からない。そういったことも直接個人が京急に言うのは難しいので、行政側で京急側と問題が起きないような方法とかを指導してもらえないのか。

市長 そういう地元の声があるということで協議をさせてもらい、フィードバックできるようにします。

最初のお話の「お年寄り向けの施設」というお話ですけど、ここに計画されるのは、将来的に介護を受けるお年寄りなどは想定していません。所謂アクティブシニアの第二の人生を三浦で楽しんでほしいということをコンセプトとした住宅をつくらうというのが、進出する事業者の事業計画の内容です。例えば、動けなくなるですとか、介護の認定を受けるような状況になったときには、各医療機関とも連携をして、そういった施設に移って頂く。あるいは息子さん、娘さんがいる地域でケアをしていただく、というようなことを最終的な目標としていきます。確かにお年寄りの住居が増えるということは事実かもしれませんが、若い世代を呼び込むための子育て支援住宅というのを、現在検討しています。民間事業者にも調査をしてもらっているのですが、上宮田の南下浦市民センターも老朽化していますので、そちらを建て替え、子育て支援住宅と公民館的機能を一つに民間で作ってもらえないか、手法を検討します。半次の住宅もかなり老朽化していますので、あそこをどうするのかというのも一つの課題です。

市営住宅にお住まいの世帯が40世帯ほどいらっしゃいます。そういう方々は入居して頂いていますので、ケアするとしても市営住宅は一旦廃止しようと思っています。やはり市営住宅というのは入居されたら、所得が上がれば別ですけど、そうではないとずっと居れる。ですから子育てが大変な世代ですとか、お年寄りで経済的に大変な方がきちんと入れるようにケアしなきゃいけないというのが、私の基本的な考えです。

公営住宅を市が作るとなると、建物のコストも非常に高くなります。住宅というのは

強固な建物にしなければいけないという法律があり、普通の住宅よりもコストが高くなってしまう。公営住宅として建設するよりも、民間に作っていただき、借り上げたほうがコストが下がるので、そのような手法を検討するため、すでに研究に入っています。

市民 若者を市外に出さないように考えないとまずいのでは。空き家を貸す「トライアルステイ」の事業は成果がでたのですか。

市長 具体的に移住される方はまだ出ていません。

市民 もう少しアピールが必要なのではないか。みんな横浜方面に出ていってしまっている。これを何とかして食い止めないと地方税も入ってこない。

市長 やはり若い世代がきちんと働ける場所をつくらないといけない。三浦市だけではなく、横須賀市や三浦半島一帯で雇用を生むような場所を作らなければいけないということで、横須賀市とも連携させていただいています。京急が三浦海岸始発のモーニングウェイ号というのを作ったことはご存じでしょうか。三浦海岸からは1両50人しか乗れないのですが、300円払うと1両だけ三浦海岸から乗れる。次に横須賀中央で2両乗って、金沢文庫で乗って、上大岡で乗っていっぱいになると蒲田まで止まらないで通勤できると。朝2本で、6時と8時前の通勤ラッシュの前後で作っていただきました。それが移住の効果があるとか、若い世代の流出が防止できているかということ、中々難しいですが、そういった取り組みもさせていただいています。

市民 若者の確保ということですが、先ほどのプロパストのところ。そこでは就業が生まれるのでしょうか？

市長 もちろん、生まれます。

市民 例えばどのような。

市長 マンションの管理など。住む場所ですが、食事ですとか、趣味のカルチャーセンターみたいなものなど、家庭のリビングを大きくしたリビングハウスみたいなものがあり、そこで皆さんが食事をしたり、趣味を楽しんだりというような話になります。

市民 そこも少し可能性があるってことですね。分かりました。

先ほどのベイシアのスーパーマーケット。これができればかなり就業を生むのではないかと予想がつくのですが、埋め立てたところに道路作るような作業がかなり残っています。これを、およそ5年スタンスくらいで考えていいことなのではないでしょうか。

市長 5年とはかからないと思います。道路の交差点開業に伴う道路ができあがってからでないとプロバスがオープンできないということになると、ベイシアとしての事業採算が取れない。そこは工期を決めて、先行してオープンするような仕組みになろうかと思います。

市民 先ほど三崎口の構内が混雑しているというような話がありました。若者を呼ぶための政策としては就業もあるが、通勤もあると思う。なぜあそこが詰まるのかというと、構内よりも構内を出たところに信号があり、その道路が混雑するのです。そういった道路問題というのが大事な要素になってくるのではないかと思います。さきほど京急さんとお話をするということだったので、道路の方も含んだ形でお願いします。

市長 すぐに解決できるかどうかは別として、京急さんともそういったニーズに対して、どういったご対応ができるのか、協議させていただきます。

市民 この初声地区の中で大きな問題は、裏の道路がスムーズに通れない状態になってること。七曲がりの道路については、拡張工事はどうなっているのかなど、以前説明をしていただきました。今後は、一つ一つの要望ではなく、三浦市の生活道路をどう考えているのか、具体的に話を伺うような初声の区長会の機会を設けてほしいと思う。

市長 全然構わないです。

市民 教育問題で、子どもたちが学校の水を飲まないそうです。初声小学校でも、子どもたちはペットボトルを持ってきている。これは教育問題の1つでもあるし、教育委員会にどうなっているのか伺いたい。水が汚れているのだったら、工事の仕方もありますよね。そういう要望出したときに、教育委員会にも来てもらえるなど、そういった議論をしても大丈夫でしょうか。

市長 市の職員はそれが仕事だと思います。学校の水、飲まないのですか。

市民 全部が全部じゃ無いですけど。だから「大丈夫だよ」というお話を聞きたい。学校は学校で説明して頂けると。区全体でもそういう話題になっている。

市長 分かりました。区長さんたちで持ち寄っていただいて、きちんと打ち合わせするのは全然構いません。

市民 今、我々の年代といいますか、一線を退いた老人の住まいが多く、買物難民がいらっしやる。三崎地区はフジスーパーがバスを運行しているので、そういったものを他の地区でも出来ないかと、現在声かけをしようかという話も出ています。市として対応が出

来るのなら、そういうこともお願いしたい。老人だと車を乗らなくなって買物できなくなってしまうので、そういったことも案を出してもらえればと思っています。

市長 難しいかもしれませんが、フジスーパーさん、バスを大きくしましたからね。

市民 以前に浅井医院さんの裏にエイヴィができるとお聞きしたのですが、それはどうなっているのでしょうか。

市長 エイヴィさんは開店したいとおっしゃっています。土地は取得されていますので、エイヴィさんの経営方針で、時期を見てオープンされるのではないかと思います。結果的に引橋にベイシアが出るということで、エイヴィさんのその後の動きを掴んでいないが、ご検討されることは十分あり得ると思います。

市民 竹の下の 10 号線。切通しがまた大分崩れてきた。

市長 分かりました。担当課に伝えます。

市民 冬場になると日が短くなり、中学生の下校時間遅くなると、見ていてあぶなそうな感じがします。何か良い方法があると思う。見守り隊みたいなのが散歩しているので、三浦市で簡単な洗い替え効くようなベストとか配ってもらえないでしょうか。

市長 防犯上もいい案ですし、どんな形でもいいですかね。

市民 防災三浦が聞こえないと言う意見が多い。お年寄りが多く、17 時になると「帰りましょう」というのは聞こえるが、「地震とかそういう警報が全く聞こえない」という方が結構いらっしゃいました。

市長 防災無線をデジタルに変えるというのは、現在はまだ具体的なスケジュールができていませんが、難聴地域については区の方からお話いただいて、向きを変えるとか、音量を調整することはできます。そういったことは防災課という担当課がありますので、すぐに対応できるようにしています。もしそういうことがありましたら、すぐにご相談いただければ対応いたします。

市民 先日防災担当の方から、防災情報というメールがあるとお聞きしました。無料で注意報や警報などが出る。そちらを活用すれば、夜の雨でも聞こえますし、むしろそういう形をとったほうがとても便利だと思います。

市長 推奨しているのですが、なかなか浸透していないのが現状です。

市民 あれは良いと思う。自分が必要なものを聴けばよく、あまり必要のないものは切ればいいので。避難する形の上でもすごく有効だと思います。

市長 ありがとうございます。中々浸透できていないので、それは区長会でお手伝い頂けるとありがたいです。もう一つ、防犯メールというのもあります。例えば、駐車場荒らしや、オレオレ詐欺の電話など、警察から発信するメールもあります。不審者が出たというのも流すものがありますので、それも併せてお願いするようにいたします。

※ 公表については了承を得ております。